

# プロジェクトY

## －ホタルの自然繁殖を目指して－

代表者 萩野 詩季 (共獣B5年)  
構成員 豊田 実歩 (教育B4年)

### 1. プロジェクト概要

3年計画で行いました。まず1年目はホタル、ビオトープについて、正しい知識を身に付け、地域との情報交換を行い、そして1年目の成果として、ホタルの飼育マニュアル、ビオトープ管理マニュアルを作成しました。

2年目は昨年度学んだことを生かし、今持つホタル飼育部屋をより良い施設へと整備しました。また、マニュアルの見直しを行い、再検討しました。新たに備品を備えて、ビオトープの清掃も行い、また去年作れなかった採卵飼育箱を作成しました。今年度はその成果をもとにまずは遮光ネットをビオトープに作成し、マニュアルを完成させ、その後配布計画です。

### 2. 目的

- 1) 山口大学を含む平川地域を、ホタルの飛び交う環境にする
- 2) 無理なく環境保全活動が行える仕組みづくりを作る

1) に関してはホタルの飛翔数の増加を、2) に関しては地域と協力しながら誰もが出来る循環性を持つ環境保全活動を意味します。

### 3. 活動内容

ビオトープに遮光ネットを整える予定でした。しかし、メンバーで改めて計画を審議したところ、以下のような理由により、今年度の計画は難しいのではないかとのこととなり、今年度は見送りになりました。

- 1) 大学内のビオトープには他にも様々な問題があり、遮光ネットの設置だけでは飛翔数が増加しない可能性が高い。具体的には、水量が安定しない、風通しが良すぎる。など。
- 2) 設置した後の管理ができるかが心配。天候によって飛ばされたり、壊れたりした時の処置ができるかどうか心配。主なメンバーである「ホタゆに」も人数が減少してしまい、今後の管理ができない可能性がある。



写真1 ビオトープ清掃の様子

この様な理由から見送りになってしまったが、その代わりに学外との交流に力を入れ、平川地域と協力し、地域全体でホタルを増やす取り組みを行うこととしました。4月～8月にかけては平川地域の方々と協力し、地域でホタル祭りを行う計画を立てました。ホタルを地域で増やしてホタル祭りを開催するのも簡単ではなく、数年では達成できないという結論になってしまいましたが、今後も継続して協力し、後輩に意思を引き継いでいこうと思っています。ビオトープの清掃も継続して行い、環境維持は今後も行っていく予定です。(写真1)

ホタル飼育マニュアル、ビオトープ管理マニュアルについては、完成品を「ホタゆに」が管理する飼育部屋と自主活動ルームに設置し、ホタル飼育についてのノウハウを共有できるようにしています。(写真2・3)



写真2 ホタル飼育マニュアル



写真3 ビオトープ管理マニュアル